

多摩市の社会教育施設に関する

第2次アンケート回答

2017年10月20日現在

- 1 橋本由美子
- 2 安斉君子
- 3 伊地知恭子
- 4 小林憲一
- 5～9 公明党
- 10 向井かおり
- 11 板橋 茂
- 12 折戸小夜子
- 13 大くま真一
- 14 大野まさき
- 15 岩崎みなこ
- 16 松田大輔

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 橋本由美子

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由 2つに区分けされたのは、現状の形と築年数などの違いがあるからと受け止め、地域ニーズなど市民の運動で建設的な方向にもっていくという趣旨では賛成です。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由 公民館は社会教育施設として重要なものと考えています。永山だけでは部屋の確保ができない現状を考えてもなくす方向は反対です。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由 行政が一方的に決めたものではなく、図書館利用者等市民の立場にたつ方も入り考えてきたもの、話し合いの過程や結論が非民主的なものだったとは聞いていないのでプロセスに大きな問題があるとは考えていません。

内容 ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由 上記のような形ででき上がったものです。多少の調整はあるにしても大きな問題はないと思います。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

すべてを潤沢に支えることはむずかしいとは思いますが、だからこそ、市民 どうしの話し合いもふくめた話し合いも必要です。行政や議会側に必要なことは、社会教育施設が民主主義醸成のためにも「必要な不可欠な施設」という基本的認識だと思います。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 安斉きみ子

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由 聖ヶ丘と唐木田は新しいので現状どおり存続。豊ヶ岡と東寺方は老朽化対策が必要。修繕か建替えかまたどんな地域図書館が必要か他の施設の機能など住民合意で進めるべき。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。

②反対である。

③何ともいえない。

理由 公民館の役割は大事にすべき。永山公民館と統合してその分館では、公民館の機能も人の配置も弱くなる。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。

②評価しない。

③何ともいえない。

理由 市民の声なども一定反映させた内容だと思う。本館機能を充実させる必要があり、一定のプロセスを踏んでいると思う。

内容 ①評価する。

②評価しない。

③何ともいえない。

理由 本館機能の充実をめざすものだと思う。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

公共施設はどの自治体にも必要。財源のあるなしで差があってはならない。建設や維持管理などに国や都が予算をつけるべき。国が公共施設を削減する計画はナンセンス。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 小林憲一

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①○賛成である。 ②○反対である。 ③○何ともいえない。

理由 私は、基本的には、4つの地域図書館とも存続させるべきであると考えます。あえて、聖ヶ丘・唐木田と豊ヶ丘・東寺方を区別する理由はないと考えます。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①○賛成である。 ②○反対である。 ③○何ともいえない。

理由 私は、関戸公民館は、公民館として存続させるべきだと考えます。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①○評価する。 ②○評価しない。 ③○何ともいえない。

理由 市民と専門家の意見を取り入れるステップが踏まれていると考えます。

内容 ①○評価する。 ②○評価しない。 ③○何ともいえない。

理由 図書館本館の移転再整備問題と、本館(中央図書館)と2つの拠点館、4つの地域館について、それぞれの役割分担と相互のネットワークが示されているのは、評価できると考えます。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

財政問題の観点からのアプローチのみで、存続や統廃合問題をとらえるのは正しくない。やはり、それぞれの施設が、住民の基本的な人権を具現化するうえでどう必要なのか?の観点が重要。そのことから考えると、現在の全体のボリュームが多すぎるというようなことは、たとえば、欧米諸国など比べ言えないのではないかと。多摩市の財政力の範囲内でだけ考えるべきではない。国や東京都にしかるべき責任を果たさせることが必要。財政上、統廃合もやむをえないという場合でも、丁寧な合意づくりが必要。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

公明党

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

- (1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由：市民と対話をしながら進めることは大いに賛成です。しかし、学生が利用できない開館時間について改善を求めていますので現状どおりの存続では課題が残ると思っています。全体的な運営費について、このままでは人件費ばかりが膨らみ肝心の蔵書に費用が当てられない現状も早急な改善が必要と考えます。

- (2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由：市民の活動を支えてきた公民館の役割は大きいと思っています。できるだけ現状の運営を維持したいと思いますが、借金をしてまで現状の維持をし続けることは賛成しかねます。市民活動を支える拠点として、維持しながらも運営自体の見直しは必要と思っています。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由：市民合意のないまま、桜美林所有の土地を交換という名目で購入を前提に、教育委員会や策定委員会で桜美林アカデミーヒルズ横の土地を仮定して話を進めてしまったことは非常に残念です。また、改修後のパルテノン多摩にも同様の機能を検討しており機能重複を懸念しております。

内容 ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由：内容は全体的に高く評価しています。パルテノン多摩ともっと近い立地に建設できれば更に大きな力が発揮できると考えます。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

戸籍管理・学校教育・医療・介護・出産・育児などの社会保障をしっかりと維持したうえで、社会教育施設の充実を図る。今後は市民協働などで、施設の運営に対しても改善をし、持続可能な仕組みづくりが必要と考えています。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 向井かおり

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

- (1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。 ○

理由

パルテノンと図書館に象徴されるように、規模の大きな施設の大規模改修は合築を検討する好機である一方、図書館のように中央・拠点館・地域館が総合的にシステムを成す場合、個々の建物を別々に議論することも合理的ではありません。地域館の必要、不要の意思が地域毎に異なれば、全体構想が無意味化することも考えられます。

- (2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人人体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ○ ②反対である。 ③何ともいえない。

理由

公民館機能が人と地域を育ててきたことは、公民館による講座のアフターが過去も、現在も市の協働のパートナーとして活躍していることから明らかです。社会教育の意義と実践を継承するため、人と仕組みの充実を優先すべきと考えます。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ① 評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。 ○

理由

中央図書館を「図書館システムの中核機能」「学校や他の施設との連携拠点機能」として位置づけた一方、システムの一部であるにも関わらず存続が確定していない2館の今後は未定。議論を急ぐ必要があったと思います。

内容 ① 評価する。 ○ ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由

市全体の計画や施策を俯瞰した、図書館を真ん中にしたまちづくりのランドデザインのように、図書館ブリークだけでなく若い人たちにもわかりやすく伝える努力がなされ、今後、幅広い市民に関わっていただき、ともに育てていきたいと思います。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

いずれの施設も単年度の来館者数が評価指標となり、内面の豊かさや健康の向上に注目した長中期的な評価は難しく行ったことがありません。人件費や維持管理費は施設の数や大きさに比例するため、人口減少に合わせたダウンサイジングは必要と思いますが、機能と配置、統合の総合的な検討が先にあるべきと思います。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 板橋 茂

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由 すでに迎えようとしているワークライフバランスの動きがあるなか、住民が求める要望や、役割や責任も様々に変化しているなか、現施設も大規模改修時の要望や役割を見直す必要があり、組みが必要で、何が求められるのか、住民と共に検討し方向を明確にしていくべきです。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由 基本的には、公民館の廃止には反対です。しかし住民からの反対の声が特に聞かれない。「施設があるから公民館でなくても」といった声が大勢を占めているように、何ともいえない。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由 当初、地域図書館と廃止する事と前提として構想があり、又、議会がこれを望んでいるような内容であったが、様々な協議や意見交換、市民意見の取り入れ等を通じて、又々な構想の見直しが行われた。

内容 ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由 地域図書館の存続とはいっても、縮小の方向にある事から何ともいえない。今後の住民運動にかかっている。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

公共施設として必要な社会教育施設は、財政うんぬんではなく、必ず経費計上すべきものである。

ご協力ありがとうございました。fax :

メール: yarai@hosei.ac.jp 郵送のいずれかの方法で10月14日必着をお願いします。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 和久小梨子

※各質問事項の①～③でなくてはまるものに○をつけ、意向があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1) (2) にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、森ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由: 市民と対話を行ないながら対応策を検討することは全面的にはいいが、議会では存続(現状)の方向は、市側の意向が見えにくい。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由: 地域図書館が多摩市民に定着していること、運営のあり方は市民と話し合っている課題を整理すべきでは。

2. 教育委員会に、2016年6月「多摩市立図書館小館併設推進本部設置策定委員会」を設置。策定委員会は、7月に互選された委員会の議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館小館併設推進基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由: 地域図書館中心の発想に於いて「基本構想」を建設するには無理があるのでは。工地的な問題もある。

内容 ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由:

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

「新年度施設の見直し方針行動プログラム」では床面積の削減が目標とされているが、この方針は既存の大規模改修、児童館の建設と財政面も床面積も拡大している。削減が拡大されている。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 大くま真一

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

- (1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由：一方的な廃止から、市民との対話を行う方向へ進んだ点は評価しています。どういった結論となるかは今後の課題として依然としてありますが、市民の声としっかりと向き合うように、市議としても求めていますし、市民としても、様々な皆さんと協力していきたいと思えます。

- (2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

①賛成である。 ②反対である。 ③何ともいえない。

理由：公共施設としては残しつつ、公民館としては廃止という方向は、市民との十分な議論を経たものではないと感じています。行動プログラム全体として、財政問題をタテに、市が一方的に施設の削減を進めるものになっている点が大変問題です。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由：これまでの中央図書館を求める運動なども踏まえつつ、策定委員会では熱心な議論が行われ、基本構想が策定されたと理解しています。

内容 ①評価する。 ②評価しない。 ③何ともいえない。

理由：これまで多摩市が積み上げてきた図書館政策全体を評価しなおし、さらに新たに中央図書館に求めるものが示されている。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

市民の権利を保障するという視点を基本にすれば、財政問題をお題目に、市が施設を一方的に削減していくことは許されません。市民に対して情報提供し、丁寧な議論を積み上げていくことが求められていると考えます。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 大野まさき

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

<input checked="" type="radio"/> ①賛成である。	<input type="radio"/> ②反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 地域図書館については「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が良いかもしれないが、「市公共施設の総床面積を減らす」という本来の目的を果たすため、その分どうしていくのかが明確には伝わらないため。		

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

<input checked="" type="radio"/> ①賛成である。	<input type="radio"/> ②反対である。	<input type="radio"/> ③何ともいえない。
理由 元々の方針に反対ではなかったため。		

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス	<input type="radio"/> ①評価する。	<input type="radio"/> ②評価しない。	<input checked="" type="radio"/> ③何ともいえない。
理由	パルテノン多摩大規模改修問題や地域図書館が存続されていることを踏まえた「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」本来の目的との整合性をどこまで踏まえたものであるのか不明であることから。		
内容	<input type="radio"/> ①評価する。	<input type="radio"/> ②評価しない。	<input checked="" type="radio"/> ③何ともいえない。
理由	上記プロセスと同じ		

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

現存する市社会教育施設全てが一律に将来に渡って従来と同じ方針やあり方で存続すべきだとは断言できない。人口減、少子高齢社会となっていく中、また、技術革新や趣向性の多様化によって、前提となる施設やサービスのあり方も現状を基準に全てを定めてしまうこともできないと考える。少なくとも人口減、少子高齢社会となることで、福祉に対して従来以上のニーズと緊急性が求められる様になるというのは想像できる。そのことに重点を置くことが将来果たすべき市公共サービスの優先順位としては高いものであると考えるため、そのサービスを削ってまで、現状の社会教育施設やサービスについて不可侵とすべきとは考えていない。

多摩市の社会教育施設に関する第2次アンケート回答書

市議会議員氏名 松田大輔

※各質問事項の①～③であてはまるものに○をつけ、理由があればお書きください。

1. 多摩市は、2016年「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を更新しました。以下、(1)(2)にお答えください。

(1) プログラムの更新で、聖ヶ丘図書館、唐木田図書館は「現状どおり存続」、豊ヶ丘図書館、東寺方図書館は「大規模改修の時期までに市民と対話を行いながら、地域のニーズの把握と対応策の検討を続けます」という方針が示されました。市が示したプログラムの更新内容についてどのようにお考えですか。

① 賛成である。

理由

前年に再構築の基本構想にいったん賛成しながら、翌年になって議会で本館の再整備を反対した形になってしまっているため、廃止するわけにもいかず、当面存続し、対応策の検討を続けるという答えは仕方がないように思うから。

(2) プログラムの更新で、関戸公民館は「移転・統合に向けた今後の事業実施や人員体制等の課題整理を行っていく」という廃止の方針が依然として計画されています。このことについてどのようにお考えですか。

③ 何ともいえない。

理由 あくまで個人意見としてというところまでしかこれに関しては結論に至っていないので『③何ともいえない』と答えさせていただく。個人というか私の所属する地域活動の団体としては非常に利用頻度が高いためその後の方針内容によっては反対するかもしれない。

2. 教育委員会は、2016年6月「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」を設置。策定委員会は、7回に亘る策定委員会での議論を経て、2017年1月「多摩市立図書館本館再構築基本構想(案)」としてまとめました。この案を教育委員会で協議し、2017年2月、「基本構想」として決定しました。この基本構想策定のプロセスと内容に対してどのようにお考えですか。

プロセス ① 評価する。

理由

全7回それぞれ3時間以上の時間を費やして、それすらも拙速、構想期間が短いという意見もあるが、非常に審議した策定委員の努力が見えると思う。

内容 ① 評価する。

理由

いままで恒常的な利用が少なかった多摩中央公園との一体化をもって図書館の再整備できればほかの自治体にはない素晴らしい図書館ができると思う。

3. 市民生活に必要な多摩市の社会教育施設(公民館、図書館、文化ホール、児童館、スポーツ施設等)を維持するための財政の在り方についてどのようにお考えですか。

ある程度の延べ床面積の縮減は財政的にも必要と思っている。公共施設の利用料で補おうとするのは無理な話なのでいかに市民の利用、賑わいを創出して使い倒せるかだと思う。

ご協力ありがとうございました。fax :

メール : yarai@hosei.ac.jp 郵送のいずれかの方法で10月14日必着をお願いします。